

## 単元名 速さ

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 速さの意味や表し方, 求め方を理解し, 速さを求めることができる。  
 (2) 道のりと時間の関係から, 速さの求め方を導くことができる。  
 (3) 単位量あたりの考え方をを用いて, 速さ・道のり・時間の関係を調べようとする。

## 標準的な展開例

05040305\_001

【準備等】電卓

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 3種の動物の走る速さについて調べ, 単元の学習課題をつかむ。[p. 220・p. 221]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3種の動物のタイムを見て, 気付いたことを発表し合う</li> <li>○ どの動物が一番速いのかを話し合う。</li> <li>○ 50m走と5分間走の記録を見て, 速さの比べ方について考える。</li> <li>○ 単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 単位量あたりの大きさを使って, 速さについて調べていく。</li> <li>○ 1秒間に走った道のりを比べる。</li> <li>○ 1m走るのに, 何秒かかったかを比べる。</li> <li>○ 15秒間に162m走るゾウの秒速を求める。</li> </ul> <p>2 速さの意味と求め方を知る。[p. 222]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで考える問題」を読み, 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 1時間あたりに進んだ道のりで, 速さをくらべよう。</li> <li>○ 1時間あたりに進んだ道のりを計算し, 速さを比べる。</li> <li>○ 速さの表し方を知り, 速さを求める公式をまとめ, 時速・分速・秒速の用語を知る。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>3 道のりの求め方を考える。[p. 223]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで考える問題」を読み, 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 速さと時間から, 道のりを求めよう。</li> <li>○ 図をもとにして, 道のりの求め方を考える。</li> <li>○ 道のりの求め方を公式にまとめる。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul> <p>4 時間の求め方を考える。[p. 224]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで考える問題」を読み, 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 速さと道のりから, 時間を求めよう。</li> <li>○ 図をもとにして, 時間の求め方を考える。</li> <li>○ 時間の求め方を公式にまとめる。</li> <li>○ 秒速150mのリニアモーターカーが, 3km進むのにかかる時間を求める。</li> </ul> <p>5 時速・分速・秒速の関係を知る。[p. 225]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みんなで考える問題」を読み, 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 速さの表し方がちがうときのくらべ方を考えよう。</li> <li>○ 速さの単位をそろえて比べる。</li> <li>○ バス・電車・飛行機の, 時速, 分速, 秒速を表にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速さは, 単位量あたりの考え方と同じように考えられる。この場面では, 単位量を1秒間の場合と1mの場合で考えさせる。</li> <li>・ 1秒間あたりに進む道のり, 1mあたりにかかる時間というように5年生で学習した単位量あたりの考え方と同じように考えればよいことを, 話し合いを通して気付かせる。</li> <li>・ この場合は, 平均の速さになるが, 触れずに進めていく。</li> <li>・ 1mあたりにかかる時間が短いほど速いといえることを理解させる。</li> <li>【評】 どの動物が速いかを, 速さから考える活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 線分図などを活用し, 単位時間あたりに進む道のりで比べればよいことに気付かせる。</li> <li>・ 単位時間あたりの走る道のりが長いほど速いと言えることを確認させる。</li> <li>・ 速さを求める式を言葉の式で表させ, 時速という用語を知らせる。時速の公式には, 分速や秒速も同様に適応できることを知らせる。</li> <li>【評】 速さの意味を知り, 計算で求める活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 線分図が自分でかける児童には, 自力解決をさせる。</li> <li>・ 理解が難しい児童には, 線分図を使い, 1時間では230m, 2時間では460mなどスモールステップで求めさせる。</li> <li>【評】 速さと時間の関係から道のりを求める活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 時速25kmは1時間に25km進む速さであることを確認する。</li> <li>・ 速さを求める公式を基にまとめさせる。</li> <li>・ 単位をそろえて計算することに注意させる。</li> <li>【評】 道のりと速さから時間を求める活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 時速をまず分速に表し, それから秒速に表すという手順を踏んでもよい。</li> <li>・ 秒速・分速・時速のどれか一つが与えられれば, 残りの2つは求められることに着目させて問題に取り組ませる。</li> </ul>

<p>○身の回りから，時速，分速，秒速が使われている場面を探す。</p> <p>6 単元を振り返り，確認問題に取り組む。[p. 226・p. 227]</p> <p>○「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>○学習の振り返りを書く。</p>	<p>【評】時速・分速・秒速の関係を理解し，それぞれの変換を行う活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・個別指導を通して，単元の学習内容の定着を図る。</p> <p>・自己評価し，不十分なところは教科書で振り返らせる。</p> <p>【評】問題に取り組む活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <p>・速さについて分かったことやできるようになったこと，もっとやってみたいことをなどを書かせる。</p>
--	---

【 備 考 】

速さは，道のりを一定にして時間の長短で比べる方法と，時間を一定にして道のりの長短で比べる方法がある。前者は，速さと時間が反比例するので比べる値の小さい方（時間の短い方）が速いということになり，比較がやや困難である。そこで，1秒間に進む道のりで速さを比べさせ，次に1m走るのにかった時間で速さを比べさせるとよい。

基本的には，1秒あたりの道のり，1mあたりの時間というように，2学期に学習した単位量あたりの考え方と同じように考えればよいことを理解させたい。